

平成29年3月4日(土)

広島県生涯学習研究実践交流会

第3分科会




みんな違うから公民館がいかせる ～まち(環境)の違いからみる 地域資源のいかし方～

山口県山陽小野田市教育委員会

中央公民館 主任主事 柿並 健吾

厚陽公民館 主任主事 増本 順之



分科会のテーマは「いかす」♪
美祿市、山陽小野田市、宇部市の公民館活動について研究しました。

1. はじめに

「いかす」って何でしょうか・・・？



→ 学習の成果をいかす、人材をいかす、
特技や経験をいかす、学校にいかす、講座にいかす・・・etc

ひとまず「地域資源の活用」について、
三市の公民館活動を調べてみることにしました。

(三市の位置関係)



【美祢市】

面積: 約472平方km

人口: 約2万5千人



【山陽小野田市】

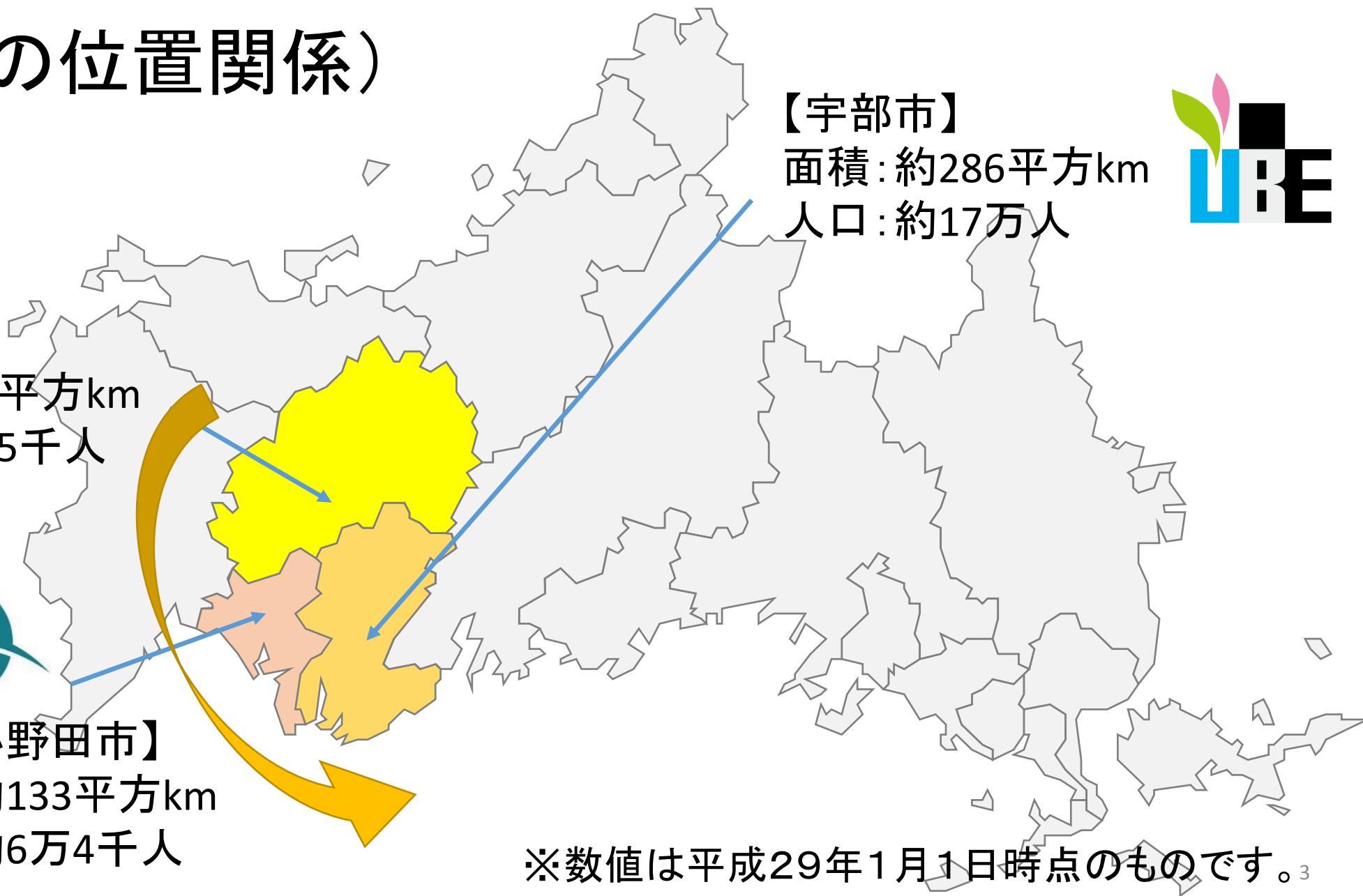
面積: 約133平方km

人口: 約6万4千人

【宇部市】

面積: 約286平方km

人口: 約17万人



※数値は平成29年1月1日時点のものです。³



(三市のイメージについて)

【都会度】

美祢市 < 山陽小野田市 < 宇部市



低

高



(都会度とは)

人口や産業、地形、建造物・・・といったまちの環境的なことに加え、生活に“いかに自然が関わってくるか”を「都会らしさ」の度合いとしました。

※皆さんにイメージを伝えるための、この分科会独自の呼称です。

決して、まちの魅力や良し悪しをはかるものではありません！

どの市も魅力あふれるまちばかりです！！

(今日のテーマ)

- 「環境の違い」と「公民館活動の特色」
- 三市の「取り組みの先に見えるもの」

(私たちが取り組んできたこと)

活動の調査

環境との比較

活動の分類

共通点

公民館の役割



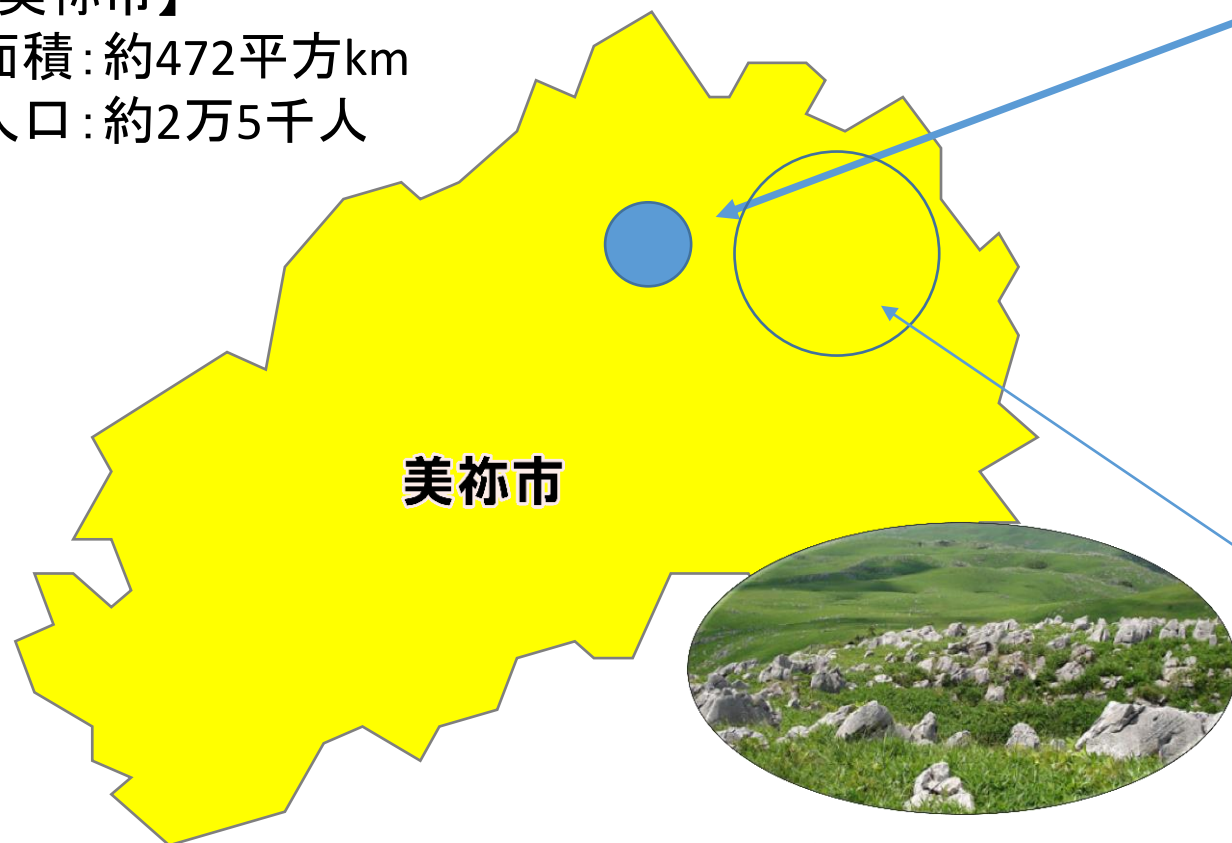
2. 公民館活動に見る、地域資源の活用例

(1) 地域講師に郷土史を学ぶ～ふるさと歴史散歩～ (美祢市嘉万公民館)

【美祢市】

面積：約472平方km

人口：約2万5千人



美祢市



嘉万地区

人口：約1,400人



近くには・・・

- ・国定公園秋吉台(カルスト台地)
- ・キャンプ場、自然の家
- ・秋芳洞、大正洞、サファリランド
- ・龍護峰 などなど

(美祢市観光サイト)カルストドットコム <http://karusuto.com/>

ふるさと歴史散歩の概要

(1)時間

○午前9時から午前12時(3時間)

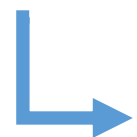
(2)内容

- 4～5kmの距離を歩き、
3、4箇所^の史跡を巡る。
- 地域から講師を招き、
ときに参加者同士で意見や感想を
交換し、コミュニケーションを図る。



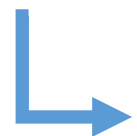
講座開講の経緯

「**高齢者**が多く、健康や福祉関係の講座に需要」



「地域で**元気に楽しく**過ごして欲しい」

「地域にもっと**愛着**を持ってほしい」



「意外と気づかない**ふるさとのこと**」

(歴史・伝説・民話)



地域に学ぼう♪

「地域の良さを見直そう、**講師も地域から!**」

(講師より) 講義形式ではもったいない。

健康づくりも兼ねて、

実際に史跡を訪ねてみては?



では、移動を「**散歩**」としよう♪



ふるさと歴史散歩の良い点

○普段の生活では目に留めない史跡へ実際に足を運び、学習することで、土地への愛着がうまれる。

新しい気づき

自身の健康

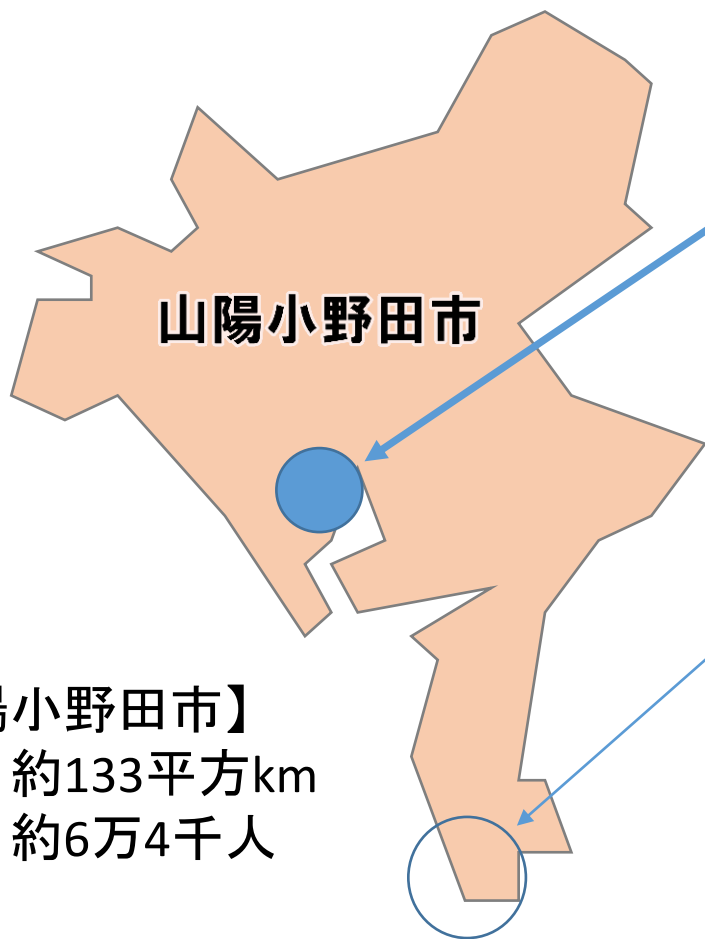
○史跡へ移動する散歩時間に意見や感想の交換を行うことで受講者間でコミュニケーションが生まれる。

人と人が
出会う場所

地域の風通し



(2) 地域で育む子どもたち～学校支援活動と公民館～ (山陽小野田市厚陽公民館)



厚陽地区
人口:約2,100人



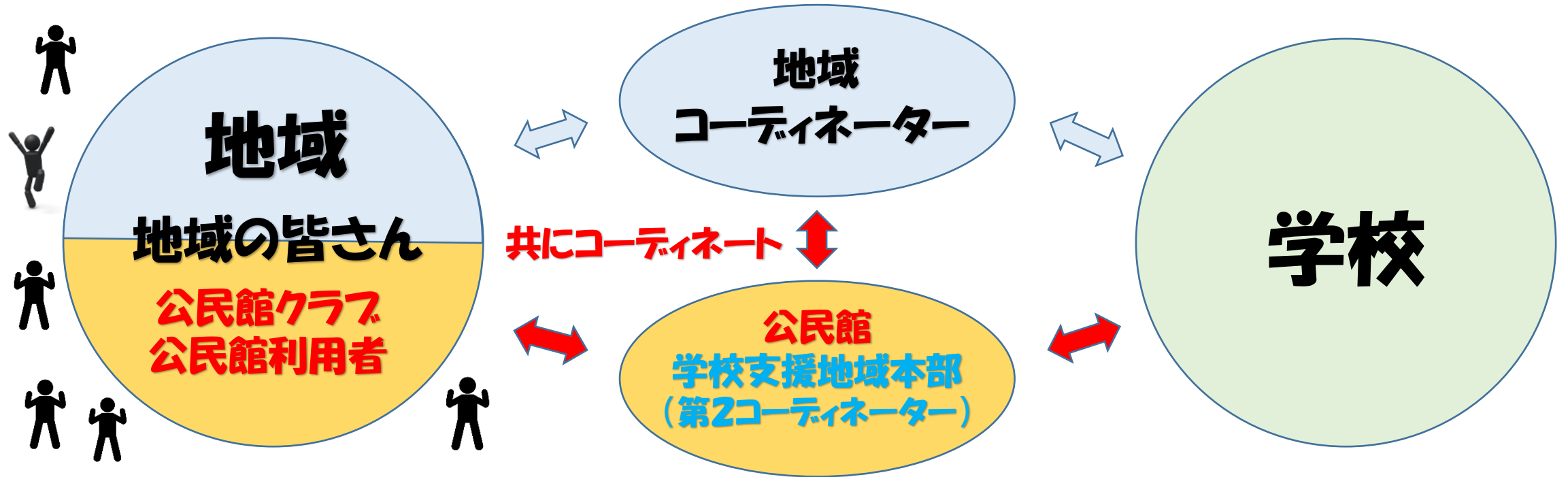
【山陽小野田市】
面積:約133平方km
人口:約6万4千人



- ・竜王山(展望台あり)
- ・オートキャンプ場
- ・きらら交流館
- ・きららガラス未来館
- ・焼野海岸(きららビーチ)

(山陽小野田市観光協会) <http://sanyoonoda-kanko.com/>

厚陽公民館での取り組み



○H26年度 学校支援地域本部事務局を公民館へ設置

※世界ジャンボリーにおいて、公民館クラブが学校で行なわれた地域プログラムへ参加。この活動が支援の後押しとなり、現在では学習支援や読み聞かせに参加し、活動の幅が広がりつつある。

厚陽公民館が目指すもの

子どもに着目した取り組みを
「公民館を中心」に展開！



「担い手の育成」

学校・家庭・地域
みんなが一緒に！

「学習成果の還元」

「新しいつながり！」



自分を**必要とされる喜び**(やいがい)
いつかふるさとに帰ってきて欲しい

学校支援で意識していること

**一緒に考え、行動し、
一緒に汗を流す！**

「ありがとう」で終わらない支援

できるときに、できる範囲で

**築かれていく関係が
厚陽の資源(財産)に！**

**育てたい子ども像を語り、
「みんな」で支えあう。**

**…こうした取り組みに、
首長部局(福祉)も興味**

(3) 活動の担い手とその先にあるもの ～リフレッシュ瀬戸内海岸清掃～ (宇部市西岐波ふれあいセンター)

【宇部市】
面積: 約286平方km
人口: 約17万人



西岐波地区
人口: 約13,000人



- ・白土海水浴場
- ・190号線沿いのロードサイド店舗
- ・マンションや産業団地
- ・多数の飲食店

(宇部市観光コンベンション協会)うべなび <http://ube-kankou.or.jp/>

「リフレッシュ瀬戸内海岸清掃」(白土海水浴場)

主体:ふるさと運動実行委員会

↳ 公民館利用団体から人を出し合って構成

細やかな**呼びかけ**、横の**つながり**

海岸の状態を**知る**、活動の**計画**

実施の**ノウハウ**を持った人

地域団体も**一緒に**、企業活動も**取り込む**

地域総出！参加者は約1,000名！



「初日の出を迎える会」（白土海水浴場）

○**清掃した海岸でイベント**を開催

毎年元旦にみんなで初日の出を！

参加者は約300名

地元団体の和太鼓演奏、
ぜんざいの振る舞い、土鈴のお土産も。



活動のポイント

人口多い地域だからこそ、
地域の思いがより重要！



〇〇なまちに住みたい
公民館で考え、学び、行動に

活動の**過程**で
たくさんの人を**巻き込む**！



館をフル活用！

自分たちも含めて、皆が
「**楽しい**」ことを用意する！

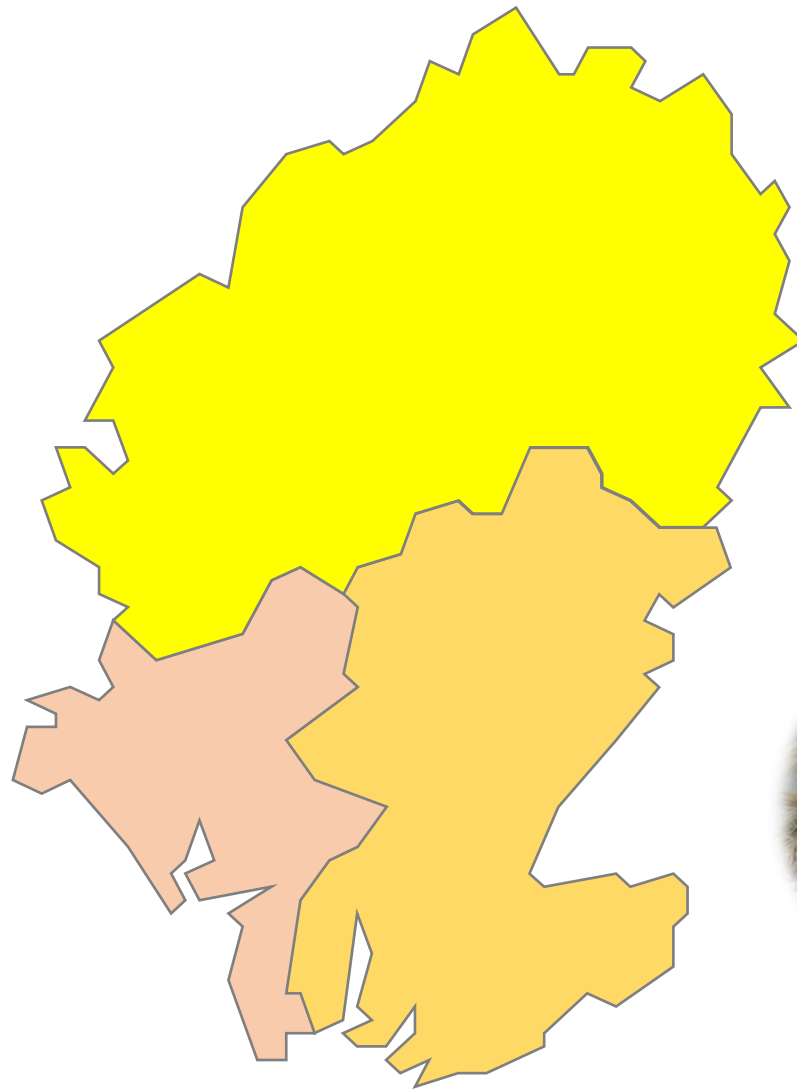


「生活に**潤い**」
「今後への**期待**」



「活動の持続」





3. 事例を通じて分かったこと

ローカル型

「美祢市」の取り組み

(公民館の講座を通じて…)

- 地域をより深く知る
- 未知の歴史を紐解く楽しさ、新しい発見
- 「顔見知り」の関係づくり、孤独の解消
- 見守りあう、相談できる仲間



地域の中で「自分らしく」、
「安心して」生きていくための学び

バランス型

「山陽小野田市」の取り組み

(公民館がコーディネーターとなって…)

- 活躍できる場所＝「学校」
- 未来を考える機会
- 各々が「できること」を探す
- 学びを通じて人々をつなぎ、輪を広げる



山陽小野田市

いいところは何でも取り入れたい、
人々をつなぐ学びのコーディネーター

都市型

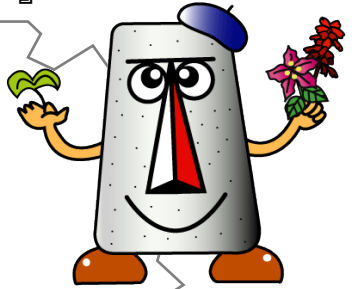
「宇部市」の取り組み

(公民館をスタート地点として…)

- 多様な人々を巻き込む
- 活動を持続させる＝「楽しさ」
- 興味・関心を「住みよいまちづくり」に
- 活躍できる機会＝「披露」

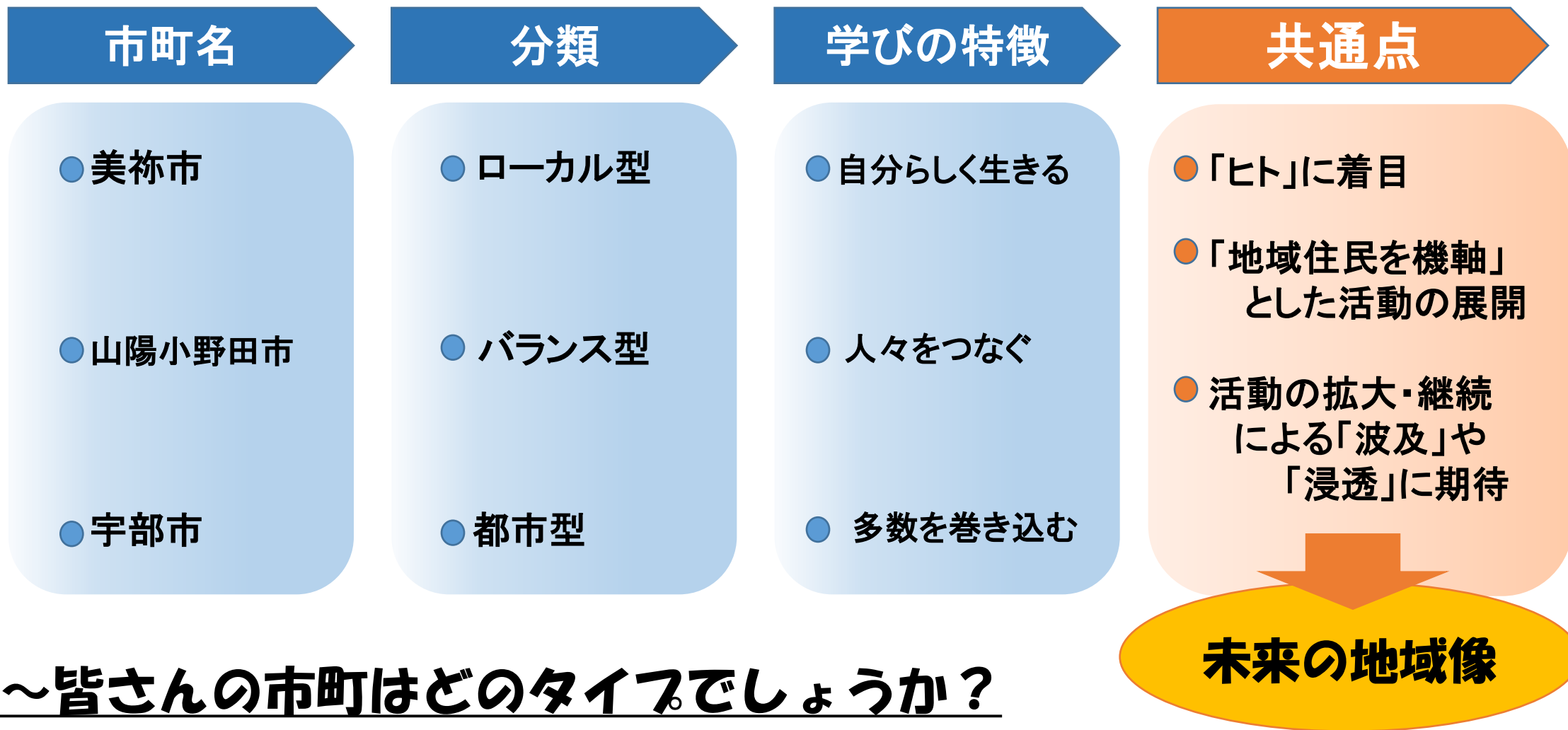
講座をきっかけに人を集め、
より多くの人を巻き込んで「まちづくり」に繋げる

宇部市
イメージキャラクター
「チョコクン」



宇部市

(活動の分類と共通点)



いま、公民館は必要なのでしょうか？

4. 公民館の役割を考える



公民館の役割は？



【ローカル型】



【バランス型】



【都市型】

どの型も地域に根ざした資源の活用がなされている

今、皆さんの館で行なわれている公民館活動そのものが『地域ならでは』の活動であり、『地域に合わせた』取り組みだと言えるのだと思います。

公民館の役割を考えると…

みんながお互いを思いやり、自分の住む地域の未来を
一緒になって考え、活動していけるよう、
個々をつないで、大きなうねりを作っていくこと！！

それは…

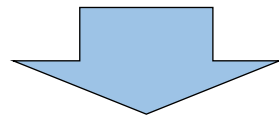
「地域に最も近く」
「地域を最も知る」 **公民館**だからこそ担えるのではないのでしょうか？

公民館のコーディネート力をいかして

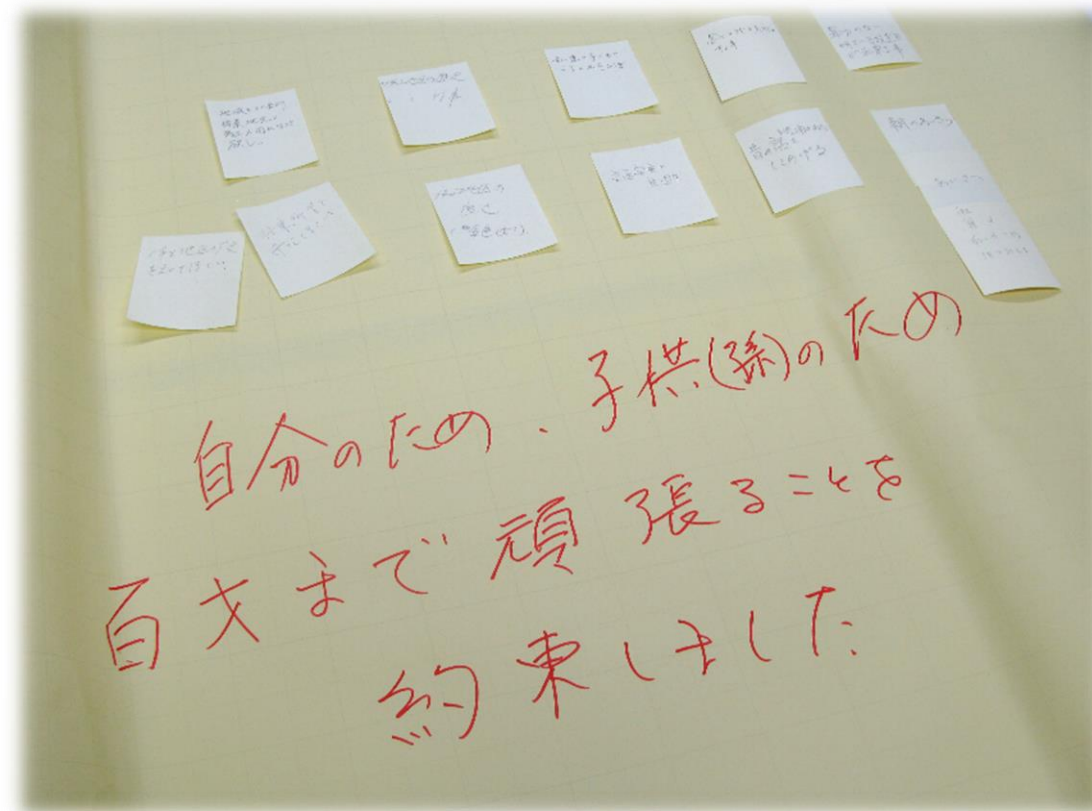
- 多様な人々を巻き込み、活動の裾野を広げていきましょう！
- 自然・歴史・文化のような『地域ならではの』
の資源を見つけ、その魅力を高めていきましょう！



今、公民館に求められているもの



『まちづくりに波及するひとづくり』



(山陽小野田市と長門市の高齢者学級による意見交換会の様子)

5. おわりに

○公民館職員として…

お互いに活かし、
活かしあえるような関係づくり

まちの未来
地域を動かす力

つなぐ

「いかす」

学ぶ

「公民館の可能性」

多様な人々を巻き込み、
「支援」→「協働」の輪を！

少しの「きっかけ」が地域を動かす「原動力」に！

いかし合える関係づくりのために

- 活動を通じ、それぞれの思いや熱意に触れること
- 私たちも含め皆が元気になること

私たちは、「支援者」であり「学習者」でもあるのではないのでしょうか。

今日この場にお集まりのみなさんに、

私たちのお話が少しでもご参考になれば幸いです。

平成29年3月4日(土)

広島県生涯学習研究実践交流会

第3分科会

ご清聴ありがとうございました。



山口にお越しの際は、ぜひ私たちの山陽小野田市にもお立ち寄りください😊